

# 公益社団法人日本新体操連盟

## 平成 25 年度第 2 回総会議事録

1. 会議名： 平成 25 年度第 2 回総会
2. 日時： 平成 26 年 3 月 10 日（月）14 時 40 分～15 時 5 分
3. 場所： 東京都千代田区丸の内 1-7-12  
「東京ステーションコンファレンスサピアタワー605B」
4. 構成員現在数： 20 名
5. 出席社員数： 15 名  
以下出席社員  
熊谷 正儀(仙台ジュニア体育研究所)  
芳賀 久美子(Little queen RG)  
藤野 朱美(Diana)  
秋山 久世(ASKA・RG)  
飯田 まぶき(インタークオレス)  
波多野 恵子(東京ジュニア新体操クラブ)  
横山 真理子(ピュアR. G)  
曾我部 美佳(町田RG)  
村上 佳子(Ribbon 新体操クラブ)  
加藤 弘美(STELLA)  
寺田 江身子 (R. G. C. 富士 スターリス)  
小林 かおり(サンシャインR. G)  
芳野 操(樟蔭ジュニア)  
梅田 雅代 (明石RG)  
松島 博子 (広島オーキス新体操クラブ)
6. 欠席社員数： 5 名  
玉野 由美(Shaleur R.G)  
橋爪 みすず (ポーラ☆スターRG)  
吉田 佳代 (三木RG)  
梶原 多栄子(梶原ジュニア新体操クラブ)  
土屋 瑞恵 (土屋R. G)
7. 出席役員： 二木 英徳 (会 長) 石崎 朔子 (副 会 長) 福本 隆 (副 会 長)  
関田史保子 (常務理事) 渡辺 守成 (常務理事) 池田真喜子 (理 事)  
岡 久留実 (理 事) 谷口 裕代 (理 事) 橋本 千波 (理 事)  
以上 9 名
8. 欠席役員： 朝倉 正昭 (副 会 長) 荒井 隆 (専務理事) 秋山エリカ (理 事)  
上村 郁代 (理 事) 崇島 慎一 (理 事) 谷原 誠 (理 事)  
山崎 浩子 (理 事) 田中 元 (監 事)  
以上 8 名
9. 議案：  
決議事項  
第 1 号議案 平成 26 年度事業計画について (定款第 4、35 条、第 4 章関連事項)  
第 2 号議案 平成 26 年度収支予算について (定款第 4、35 条、第 4 章関連事項)  
第 3 号議案 その他
10. 議事の経過及び結果  
(1) 議長による開会宣言  
 (公社)日本新体操連盟・定款第 15 条の定めにより議長を会長二木英徳が務め、開会宣言を行った。  
(2) 定足数の確認  
 定款第 17 条により総会出席者数 15 名であることが福本隆副会長より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(3) 議事録署名人の選出

定款第 18 条により、議長は議事録署名人を福本隆副会長と関田常務理事にする事を議場に諮り承認された。

(4) 議決事項

第 1 号議案 平成 26 年度・事業計画について (定款第 4, 35 条関連事項)

議長は説明者として石崎副会長を指名し、石崎副会長は下記内容の説明を行った。

1. 平成 26 年度年間事業計画について

25 年度と大きな変更点はないが、8 月に東京体育館でインターハイが行われる関係上、全日本新体操クラブ選手権を千葉ポートアリーナにて開催する。

2. 第 23 回全日本新体操クラブ選手権について

「第 23 回クラブ選手権」を 8 月 23 日から 26 日にかけて千葉ポートアリーナにて開催する。出場年齢、獲得出場権等ほとんどの内容は 25 年度と同様とする。

正確な大会スケジュールはエントリー締め切り後確定するので、締め切り後ご案内する。

3. 第 14 回全日本新体操クラブ団体選手権について

「第 14 回団体選手権」を 9 月 6 日 7 日にて開催する。種目は、シニア クラブ 10 ジュニア フープ 5 となる

4. 世界新体操クラブ選手権について

「世界新体操クラブ選手権」を 10 月 17 日から 19 日で開催する。25 年度同様の開催を予定している。

5. 第 15 回日本新体操祭について

「第 15 回日本新体操祭」を「世界新体操クラブ選手権」と同時開催する。日程は 10 月 18 日。その他概要は前回大会同様を予定している。

大会は「世界新体操クラブ選手権」の中日に開催する為、時間に制限があり、先着順で申し込みをお断りする事がある事をご了承願いたい。

6. 第 17 回全日本新体操チャイルド選手権・第 14 回全日本新体操キッズコンテストについて

「第 17 回チャイルド選手権」「第 14 回キッズコンテスト」を 2015 年 2 月 20 日から 22 日にかけて開催する。開催方法は第 16 回大会と同様とするが、種目は予選と決勝の種目を入れ替える。5・6 年生の部は予選リボン、決勝クラブ。3・4 年生の部は予選ボール、決勝ロープ。

7. 平成 26 年度指導者育成セミナーについて

「審判セミナー」を各大会前に行い計 3 回、「指導者育成セミナー」を国内計 8 回、海外計 1 回を予定している。開催方法は平成 25 年度同様を予定している。

「指導者育成セミナー」では講師を国際体操連盟技術委員長のナタリア・クズミナさんをお願いしているが、クズミナさんが FIG の会議等により海外出張が多いため、やむを得ず、講師の変更や、日程を変更するなど、セミナーを予定通り開催できないこともあることを了承いただきたい。

8. 質疑、意見

加藤弘美代議員より、「全日本新体操チャイルド選手権」の種目ローテーションを 3~5 年間分を公表して欲しいと意見があった。石崎副会長、池田理事よりチャイルド選手権の種目導入の意図、現状の説明がされ、今後理事会等で種目を決め案内するようになりたいと回答があった。

以上の説明の後、議長はその他質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第 1 号議案「平成 26 年度・事業計画」について原案通り全会一致で可決承認され

た。

第2号議案 平成26年度・収支予算について（定款第4,35条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

石崎副会長の説明の通り、平成26年度事業はほぼ平成25年度事業と同様に進める予定であり、予算についても実績を反映し、計上している。

1. 収入について

24・25年度実績から収入を見込んでおり、26年度の収入は25年度予算より、1600万円増2億8820万8000円と計上している。

2. 支出計上について

公益法人制度改革により、今まで管理費として計上していた経費を事業支出に入れる事となっている。

3. 競技会開催経費について

先ほどの説明および実績反映により、「世界クラブ選手権」1600万円増の2億2402万円、「クラブ選手権」125万円減の1360万円、「団体選手権」46万5000円増の826万5000円、「チャイルド選手権」140万円減の1800万円となる。

4. 事業費支出について

以上の事から、事業費支出計を2億7549万8000円の計上とした。

5. 管理費について

25年度予算と同額の1271万円を管理費として計上している。

6. 合計額について

事業費支出と管理費を合わせ、2億8820万8000円が当期事業活動支出となり、当期事業活動収支差額0円。予備費を100万円計上して当期収支差額がマイナス100万円。

前期繰越収支差額1350万7395円を合わせて、1250万7395円を次期繰越収支差額とした。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「平成26年度・収支予算」について原案のとおり全会一致で可決承認された。

第3号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが提出されなかった。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成26年3月10日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成25年度第2回総会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 福 本 隆

同 関 田 史保子